

令和4(2022)年

4月号

No.725

令和4年度 施政方針

広報  
ひたちおたが  
WEBでも読める



広報  
ひたち  
おた



## \\ 特集 \\

「持続可能な  
魅力溢れるふるさと」をつくる

# 令和4年度 施政方針

新型コロナワクチン接種関連情報 ..... P12  
市からのお知らせ ..... P16





# 令和4年度施政方針

今年度、第6次総合計画の後期基本計画がスタートします。本計画に位置付けた重点施策および第2期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「少子化・人口減少対策アクションプラン」に位置付けた具体的な施策を進め、「安全安心なまちづくり」・「健康で快適な市民生活の実現」・「少子化・人口減少対策」・「活力ある産業づくり」の4つの項目を重点的に取り組みます。また、国の基本方針である「カーボンニュートラル」および「デジタル化」、「SDGs」の目指す取り組み等について、本計画の各種施策に関連付け、市政の展開を図ってまいります。



# 安全安心なまちづくり

## 災害に強いまちづくり

◆災害時の要支援者避難のため、避難行動要支援者名簿の整備を進め、避難誘導等支援体制の確立を図ります。

◆集中豪雨等想定外の災害に備え、国の久慈川緊急治水対策プロジェクトによる多重防御治水の推進や、大雨時の内水対策として固定型排水ポンプ設置に向けた調査に着手し、ポンプ車配備を進めます。

◆災害時情報伝達手段の強化のため、引き続き防災行政無線のデジタル化を推進します。



## 原子力災害対策・消防体制

◆関係機関や避難先市町村の協力を得て、広域避難訓練を実施し、課題を整理し実効性のある「広域避難計画」の策定を進めます。

◆激甚化する自然災害や多様化する救急需要への対応のため、災害防災情報等の迅速かつ適切な把握による初動体制の確立や、消防団を核とした地域防災力、消防水利施設等の充実強化を図ります。



## 犯罪のないまちづくり

◆管理不全の空き家等の増加のため、実態調査と有効活用などの管理体制の充実等を図ります。

◆犯罪抑止のため防犯灯の整備を進め、地域の防犯団体や関係機関と連携し、防犯意識の高揚を図ります。

## 道路の整備

◆市民生活の利便性向上、物流の効率化等を図るため、国道293号常陸太田東バイパスなど国道道の整備を促進し、市道0139号線の幡町から日立市までの区間の整備を進めます。



◆通学や通勤、買い物時の生活道路として、安全性・利便性の向上を図り、橋梁長寿命化対策を継続し、市道等の環境整備を進めます。

## 上下水道・公共下水道の整備

◆折橋町地内に配水池築造工事を進め、緊急時に水道水を安定供給できるように、施設の維持管理の徹底や老朽化が著しい水道施設の更新を行います。

◆東部土地区画整理事業地内の雨水幹線等の整備を進めます。

## 交通安全対策

◆交通安全啓発活動の実施や通学路等の安全対策を進め、ブレーキペダル踏み間違い防止装置の設置費用補助により、引き続き高齢者事故の未然防止に努めます。



## 健康で快適な市民生活の実現

### 健康づくりへの支援

◆心身ともに健康で快適に老後を過ごす健康寿命延伸のために、認知機能や社会的つながりが低下するフレイル（虚弱）予防として、専任保健師を配置し、健診結果に基づき疾病の重症化予防や個別保健指導等を進めます。

◆65歳以上の方の胃がん・大腸がん検診を無料化し、高齢者が受診しやすい環境を整えます。

### 医療体制の整備

◆一般市民への3回目新型コロナウイルスワクチン接種および小児等へのワクチン接種について迅速に進めます。



◆子育て世代の安心の確保のため、こども夜間診療体制の充実を図り、婦人科等に従事する医師の確保や看護師不足の解消のため中核病院等への補助を行います。

### 高齢者福祉および介護保険

◆地域包括支援センターの体制強化を図り、関係機関や地域住民等と共に、ひとり暮らしや認知症などの高齢者の見守り支援体制の構築に取り組みます。

### 地域の支え合いへの支援

◆住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう各種支援策を推進し、民生委員児童委員や市社会福祉協議会との連携を強化し、地域福祉の増進を図ります。

### 脱炭素社会の実現を

#### 目指す取り組み・ごみの排出量削減

◆基金を創設し、カーボンニュートラルの普及・啓発事業等に取り組み市民や市内事業所等を支援し、

省エネルギー機器やクリーンエネルギー自動車等の購入補助等による再生可能エネルギー普及を促進します。

◆引き続き資源ごみ回収を実施し、町会や地域等と連携しごみ出しが困難な高齢者等を支援します。

### 公共交通

◆地域の特性や市民ニーズを的確に把握し、交通弱者に配慮した自動運転やAIによるオンデマンド交通等の次世代技術など、第4次再編に向けた調査研究等を行い、将来にわたり持続可能な公共交通体系を構築します。

### 市営霊園の整備

◆市民ニーズに応じた霊園整備のため、瑞竜霊園の東側未整備区域において、納骨堂式合葬墓地や樹木型合葬墓地整備の基本設計を行います。

### スポーツ・レクリエーション活動への支援

◆ライフステージや体力等に応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、活動の機会創

出やスポーツ施設のリニューアルなど環境整備を進め、高齢者の健康づくり推進のために、シルバーバリア活動に努めます。

◆新総合体育館は、令和9年4月のオープンを目指し、実施設計に取り組み既存体育館の解体を進めます。オープン後の管理運営の在り方等について検討を進めます。



### 地域活動への支援

◆山田地域交流センターの整備を進め、地域活動拠点となる集会所施設等の整備を支援します。地域の方々への理解を得ながら、「地域コミュニティ」設立を推進します。

## 少子化・人口減少対策

### 子育て支援

◆引き続き、0歳から2歳児における保育料の半額軽減、および第3子以降の保育料の無償化、幼稚園・保育園・こども園の3歳児以上の給食費の無償化、小中学校給食費の半額軽減を実施します。

### 妊娠、出産、育児等への支援

◆電子母子手帳機能等を備えたアプリを導入し、予防接種管理・電子申請・情報発信などの新たな支援体制の構築に努めます。



◆子育て世代包括支援センター「ここキララ」において、子育て中の悩みや不安の解消等を図るため、電話や対面による相談等に加え、オンライン育児相談にも対応し、多くの子育て世代の方々が気軽に利用できるよう相談体制を充実します。

### 結婚支援

◆いばらき出会いサポートセンターと連携し、A-マッチングシステムと相談員による支援を組み合わせ、出会いの機会の拡充を図り、魅力あるイベントやセミナー等の開催、市内事業者等が実施する結婚推進ネットワーク事業等を支援し、成婚率向上に取り組みます。



### 移住・定住の促進

◆相談業務の充実やお試し居住、空き家情報データベースの一元化等による登録物件の拡充等を図ります。

◆新婚家庭家賃助成や住宅取得促進助成、ワーケーションによる移住対応事業等により、関係人口の拡大や若い世代の転入・定住等につなげます。

### 魅力ある学校づくり

◆小中学校2学期制の本格導入により、児童生徒の確かな学力の育成と学校生活の充実を図り、教職員の働き方改革に積極的に取り組みます。

◆峰山小学校・金砂郷小学校を新たに開校します。各小中学校における9年間の学びを通し、深い学びの実現と児童生徒一人ひとりに応じた指導の充実を図ります。

◆ICT教育充実のため支援員を全小中学校へ派遣し、英語指導助手の配置やA-ツールを活用し、英語教育の充実に取り組みます。

### 多様な学習機会・多彩な人材の育成と活用

◆地域資源・地域人材などの活用により、市民ニーズや時代に即した生涯学習機会の充実を図ります。

◆図書館での新たなサービスとして電子書籍を導入し、宅配サービスの更なる充実を図り、市民の読書活動を支援します。



## 活力ある産業づくり

### 良好で魅力のある 市街地の整備

◆東部土地区画整理事業による買  
い物環境改善や雇用創出と合わせ  
て、地域経済活性化や交流人口拡  
大を図るため、大型商業施設や業  
務施設の誘致を促進し、魅力あ  
る市街地づくりを進めます。

### 働く機会の創出

◆東部土地区画整理事業用地や工  
業団地、学校跡地等への企業誘致  
に取り組み、テレワーク設備改修  
補助やU-Jターン者等の起業・  
創業支援、合同就職面接会の開催、  
企業ガイドブックの電子化等によ  
り、就業機会の創出を図り、新た  
な人材確保のための企業のウェブ  
広告や働き方改革等への支援を行  
います。

### 農林業の振興

◆農業については、新たな担い手  
確保・育成のため、初期投資軽減  
のための軽貨物車両購入補助の新

設や、事業継承、地域おこし協力  
隊等による担い手の確保を行いま  
す。認定農業者への農地の集積・  
集約の促進等や、農業法人との連  
携、農地中間管理事業の活用等に  
よる農地有効利用の促進に努めま  
す。

◆米・常陸秋そば・果樹等の高品  
質化、畜産農家生産性向上等への  
支援や本市産チーズや農産物・加  
工品等の流通拡大や有利販売を推  
進します。貨客混載事業における  
販路の再構築等を図ります。

◆林業については、森林環境譲与  
税による森林の整備や木材利用の  
推進、経営体への高性能機械導入



支援等により、森林の適切な経営  
管理を推進します。小学校の学習  
机天板を市産材に入れ替え、子ど  
もたちの森林や木材に対する意識  
の醸成等を図ります。民間企業と  
の連携協定による市民の森づくり  
事業として、里美地区にメープル  
リーフの森を育て、未来へつなぐ  
森づくりを推進します。

### 商工業の振興

◆プレミアム付き商品券発行によ  
る市内消費の喚起を図るとともに、  
商品券のデジタル化を見据えた検  
討を行います。

◆中小企業に対し、革新的な事業  
へのチャレンジ支援を拡充し、電子  
商取引サイト構築などのデジタル  
化を促進し、異業種間交流や事業  
継承支援策として、商工会に産業  
活性化コーディネーターを配置し、  
市内企業の活力向上を図ります。



### 観光の振興

◆新型コロナウイルス感染症の状  
況を注視しながら、プレミアム付  
き旅行券の発行や本市への団体旅  
行を催行した旅行会社への補助、  
観光レンタカー利用者への助成等  
による誘客促進を図ります。

◆令和5年度の茨城デスティニー  
ーションキャンペーン計画を受け、  
関係機関と連携をした諸準備を進  
めます。竜神峡エリアでの新たな  
アクティビティの創設や、本市の  
魅力的な観光資源を積極的にPR  
し、交流人口の拡大を図ります。





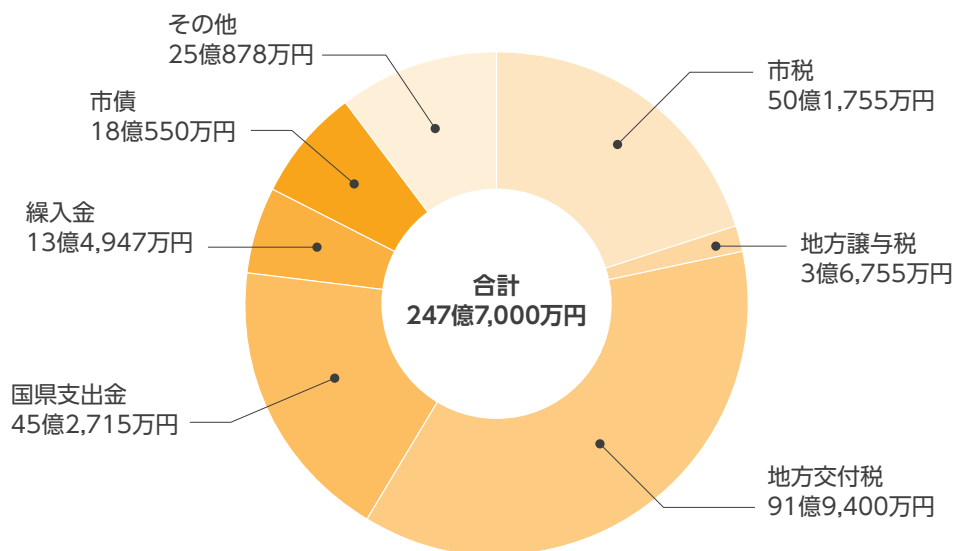
令和  
4年度

# 当初予算の概要

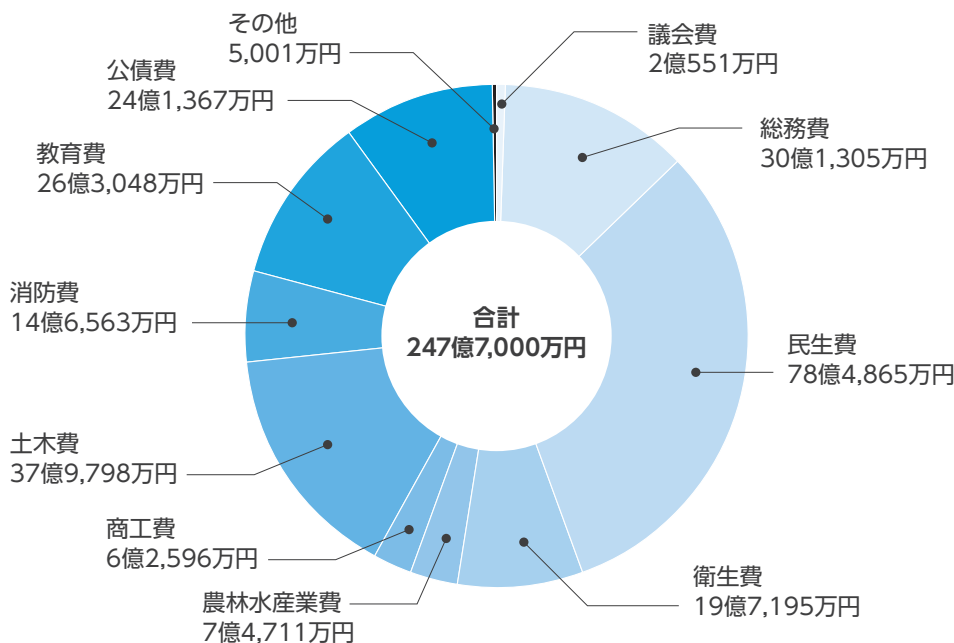
前述の事業を推進しながらも、「選択と集中」の観点から事業を見直し、将来にわたり持続可能な財政運営となるよう心掛けて予算編成を行いました。



## 一般会計歳入の内訳



## 一般会計歳出の内訳



一般会計	…… 247億7,000万円	前年度比: 0.1% ↑
特別会計・企業会計	…… 183億534万円	前年度比: 2.2% ↑
予算総計	…… 430億7,534万円	前年度比: 1.0% ↑

### 特別会計・企業会計の内訳

会計区分		金額	会計区分		金額
特別会計	国民健康保険	52億7,568万円	企業会計	水道事業	20億2,976万円
	後期高齢者医療	8億6,688万円		工業用水道事業	1億1,921万円
	介護保険	60億6,994万円		簡易水道事業	7億9,612万円
	小計	122億1,250万円		下水道事業等	31億4,775万円
			小計	60億9,284万円	

\*表中の数値については、万円単位に四捨五入しているため、金額・合計等が一致していない場合があります。



県統計グラフコンクールで  
県知事賞、統計グラフ  
全国コンクールで入賞

令和3年度県統計グラフコンクールにおいて、和田実花さん(機初小3年)の作品「すつきりめざめて元気がすごそう!」夜をかえれば朝がわかる?!」が県知事賞を受賞しました。また、第69回統計グラフ全国コンクールにも出品され、入賞を果たしました。和田さんは、作品づくりにあたり、校内でアンケートをとり、朝起きられるか、朝食をたべているかなどを調査。「円グラフを作るのが難しかった。男の子のほうが朝に強いということが分かった」と話してくれました。



アイデア貯金箱コンクールで  
入賞

第46回ゆうちょアイデア貯金箱コンクールにおいて、笠原輝さん(常陸太田特別支援学校小学部3年)が「すてきなデザイン・アイデア賞」を受賞しました。笠原さんの作品は、「竜神大吊橋」のこいのぼりをイメージしたもので、全国から応募があった58万点以上の作品のうち219作品に贈られる賞に選ばれました。



読み聞かせコンクールで  
県知事賞

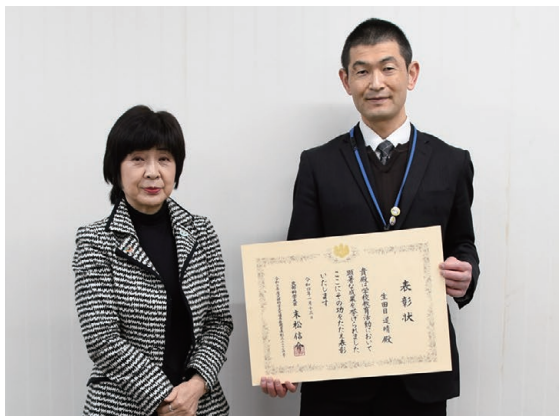
2月26日に開催された令和3年度第20回読み聞かせコンクール(県立図書館主催)の自由部門一般の部において、小林佐千江さんが県知事賞を受賞しました。小林さんは平成23年から「読み聞かせ屋サチエ」という名前で読み聞かせ活動を行ってききましたが、平成28年に舌ガンを発症し、舌の4分の1を切除。言語障害を乗り越えて、今回は舌ガンのことは明かさずに自分の力を試すためにコンクールに挑戦したそうです。「受賞したことで自信を持つことができました。これからさらに積極的に活動して、たくさんの人に読み聞かせを聞いてもらいたい」と笑顔で話してくれました。



コンクールでは、絵本「かあちゃんえほんよんで」を朗読。間の取り方や会話の伝わりやすさなどが評価されました。

県優秀教職員表彰

令和3年度県優秀教職員表彰で、機初小の生田目道晴教諭が優秀教職員に加えて、ティーチャーズ(TOT)として表彰されました。TOTとは、優秀教職員の中で、特に継続的な実践で効果をあげ、他の教員の指導力向上に寄与している教員を表彰するものです。生田目教諭は、理科分野において長年にわたり子どもの思いや考えを大切に、日常生活との関連を重視した指導方法の工夫改善や教材開発などに意欲的に取り組んできたことが評価されました。







おめでとうございます



\*学年は令和3年度のもの

県下水道促進週間  
コンクールで知事賞入選

令和3年度下水道促進週間コンクールの絵画・ポスター部門において、松田愛利亜さん(瑞穂中2年)の作品が全国町村下水道推進協議会茨城県支部長賞に選ばれ、知事賞入選となりました。松田さんは、「下水道がきれいであるように願いな海が広がる様子を描いた。賞をもらえて嬉しい」と話してくれました。



# TOPICS

奥久慈の花桃をPR

2月24日、J A常陸奥久慈枝物部会の皆さんが、出荷最盛期を迎えた花桃を市役所に届けてくれました。同部会によると、今年の花芽の状況は良好で、品質の良い切り枝を出荷できたそうです。届けられた花桃は、市役所ロビー等に飾られたほか、市内の幼稚園、保育園、子ども園に配布され、桃の節句に白とピンクのかわいらしい花が子どもたちの成長を祝いました。



常陸太田特別支援学校の生徒がぶどうジュースを販売

3月14日、道の駅ひたちおおたで常陸太田特別支援学校の中等部と高等部の生徒たちがぶどうジュースの販売を行いました。同校では、令和元年から「OTAぶどうプロジェクト」に取り組み、児童生徒たちが企業の方と一緒に、学校に隣接する畑でぶどう栽培を行ってきました。昨年秋季に初めてぶどうを収穫し、ぶどうジュースとして加工したものを今回数量限定で販売。240本用意したぶどうジュースは、1時間半ほどで完売しました。生徒たちは「お客さんに美味しそうと言ってもらえた」と嬉しそうに話してくれました。



# 西小沢小学校、幸久小学校、佐竹小学校、 金砂郷小学校、郡戸小学校、久米小学校 閉校記念式典

統合により令和3年度をもって閉校となる小学校の閉校記念式典が、3月19日に金砂郷小学校(武石洋校長)、郡戸小学校(榊雅彦校長)、久米小学校(根本幸恵校長)で、3月25日に西小沢小学校(阿部裕美校長)、幸久小学校(會澤伯民校長)、佐竹小学校(瀬尾栄校長)において行われ、各学校の校長や代表児童によるあいさつ、校旗返納などが行われました。新型コロナウイルス感染症の影響により、市長、市教育委員会、各小学校の教職員および児童に参列者を限定し、時間も短縮して開催。式典の中で、宮田市長は「市はこれからの児童の皆さんの学びを応援している。新しい学校で新しい仲間と新しいことに挑戦してほしい」とあいさつしました。4月からは新たに峰山小学校、金砂郷小学校が開校し、新たな学校生活がスタートしました。



## 金砂郷小学校

金砂郷小学校は、金砂小学校と金郷小学校の統合により平成20年に誕生した学校です。式典では、武石校長が「地域への誇りと大きな自信をもって新しい学校での生活を楽しんでほしい」と児童たちにエールを送りました。また、石川紗良さん(6年)は、同校での思い出などを述べ、「ここで学んできたことを誇りに思う。下級生たちには新しい学校でも良い思い出を作ってほしい」と話していました。式典の後に開催された閉校記念行事「ありがとう!! 金小 そして未来へ」では、児童による和太鼓演奏や金砂郷小伝統の西金砂神社田楽舞が披露され、参加した保護者から盛大な拍手が送られました。



## 郡戸小学校

郡戸小学校は、大正元年に郡戸尋常高等小学校として創設された学校です。式典で、榊校長は同校の歴史や地域との関わりについて触れ、「多くの地域の方の支えがあり、さまざまな教育活動に取り組むことができた」と話していました。また、後藤颯志さん(5年)は、「笑顔でチャレンジ郡戸っ子の精神を忘れず、新しい学校を盛り上げていきたい」と話していました。3月12日に式典に先立って行われた学校主催の閉校記念行事では、全校児童での鬼ごっこや学習発表、バルーンリリースを実施。また、式典翌日に行われた地域の実行委員会主催による催しでは、キャンドル文字作成や閉校セレモニー、花火打ち上げなどが実施され、思い出に残る一日となりました。



## 久米小学校

久米小学校は、昭和60年に久米第一小学校と久米第二小学校が統合し誕生した学校です。根本校長はあいさつの中で、「コロナ禍での制限の中でも児童たちが活躍し、久米小に素敵な最後の1年をプレゼントできた」と振り返りました。また、飛田紗季さん(6年)は、「久米小学校は私たちの心の中に存在する。楽しい小学校生活をありがとう」と久米小への感謝の思いを述べました。式典に先立って3月5日に行われた「ありがとう久米小学校 夢と希望を未来へ」と題した閉校記念行事では、先輩からのメッセージ動画の視聴やバルーンリリースなどを行い、久米小での最後の思い出を作りました。



それぞれの「想」いを胸に

# 新しい小学校へ



## 西小沢小学校

西小沢小学校は、明治6年に前身となる日進舎として開校した学校です。式典で、阿部校長は地域の方への感謝や児童たちの素晴らしいところなどを述べ、「ここでの思い出はなくなることはない」とあいさつ。また、五嶋海月さん(6年)は、小学校生活の思い出を振り返り、「ここで学んだことを忘れずに新しい学校もみんなで高め合う学校にしてほしい」と話しました。また、閉校記念式典に併せて、地域の実行委員会によって開催された閉校イベントでは、西小沢公民館において写真展や記念動画の上映が行われました。式典当日の夜には、閉校を記念した花火が打ち上げられ、西小沢小学校の長い歴史に華々しく幕を閉じました。



## 幸久小学校

幸久小学校は、明治6年に上河合小学校として開校した学校です。式典で、會澤校長は同校の歴史や地域とのつながりなどに触れ、「チーム幸久として歩んできたことは学校の誇り」と感謝の思いを述べました。宇野藍璃さん(6年)は、「優しい地域の方がいる幸久小が大好き。ここでの幸せな時間をずっと忘れない」と話していました。式典の前には校庭でバルーンリリースを行い、式典の後には、地域の実行委員会主催の閉校記念イベントを開催。ドローン撮影映像の上映やモザイクアート披露、県警音楽隊による演奏が行われ、最後は打上げ花火により幸久小学校の長い歴史に華々しく幕を閉じました。



## 佐竹小学校

佐竹小学校は、明治6年に磯部小学校として創立された学校です。式典で、瀬尾校長はあいさつの中で「佐竹小を忘れないで、大好きな郷土を大切に、新しい仲間と新しい学校を築いてほしい」と児童たちに語りかけました。また、小林真子さん(6年)は、天神ばやし太鼓を経験したことや地域の方が作ったさつま汁を食べたことなど佐竹小での思い出を振り返り、「楽しい思い出をありがとう」と話しました。また、閉校記念式典に先立って2月25日に行われた閉校記念行事では、6年生の児童による天神ばやし太鼓の演奏が行われ、迫力ある演奏に見に来た保護者や下級生たちから拍手喝采となりました。



\*文中の学年は令和3年度のものです。

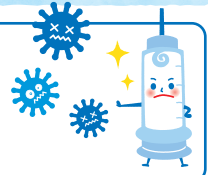
# 新型コロナワクチン接種関連情報

3月25日現在の情報を掲載しています。  
最新の情報は、市ホームページや  
厚生労働省ホームページでご確認ください。

市ホームページ



厚生労働省  
ホームページ



## 現在の本市のワクチン接種予約の状況

令和4年3月25日現在

	追加(3回目)接種	初回(1・2回目)接種	小児接種
予約対象	2回目の接種から6カ月以上経過した18歳以上の方	12歳以上の方で、まだ一度もワクチン接種をしていない方	5~11歳の方で、まだ一度もワクチン接種をしていない方
予約受付期間	5月21日まで *以降も段階的に受け付けます	随時	5月14日まで
接種場所	市内17医療機関、県大規模接種会場等	市内の医療機関から市が調整し決定	市内8医療機関
市内で使用するワクチン	ファイザー社または武田/モデルナ社ワクチン(mRNAワクチン)	ファイザー社ワクチン(mRNAワクチン)	小児用ファイザー社ワクチン(mRNAワクチン)
予約方法	【60歳以上】調査票(はがき)の返送により市が調整し予約 【59歳以下】WEB・LINE・電話(コールセンター)	電話(コールセンター)受付後、市が調整し予約	WEB・LINE・電話(コールセンター)
持参するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>封筒の中身一式(接種券一体型予診票、宛名兼接種済証)</li> <li>身分証明書(運転免許証、マイナンバーカード、健康保険証等)</li> <li>母子健康手帳&lt;小児のみ&gt;(可能な限り持参してください)</li> </ul>		

## 12~17歳の方の追加(3回目)接種を始めます

3月25日、厚生労働省が、12~17歳の方について、ファイザー社ワクチンによる追加(3回目)接種を可能としました。本市では、ワクチンの見通しが立ち次第すぐに接種を始められるよう、接種体制を構築すると共に、4月中旬に接種券等を発送する予定です。接種方法等の詳細は、決まり次第、市ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

接種を希望する方は、ご連絡ください。

市相談・予約コールセンター

☎0120-226-380 (月~土曜日<祝日を除く> 午前9時~午後5時)

\*電話が繋がらない場合は、時間を置いてからおかけ直してください。

耳の不自由な方専用 FAX 番号 0294-72-0123

